

特集・川崎長太郎 没後40年

世界につながる長太郎文学の一本路

みち

鼎談 宮田毬栄×齋藤秀昭×勝又浩 6

フェルナンド・コルドベス著 荻原陽子訳

遙か遠くの光 ―川崎文学との出会いとスペイン語訳

山本精一 川崎長太郎覚書 38

佐藤洋二郎 色街は必要だった? 43

富岡幸一郎 私小説の醍醐味 47

上林暁 赤い犬の徒(再録) 50

名作再見

川崎長太郎 山桜 60

川崎長太郎草稿「道頓堀狂想曲」特別公開 72
(草稿提供・解題 齋藤秀昭)

文科 川端康成「伊豆の踊子」と〈空白のお昼時間〉

有田和臣

74

――明示されない深層の物語を読む

ゴジラと日本人 中村勝美 76

文学の飢餓よ去らば 蓮坊公爾 78

『天井桟敷の父へ』後日譚 香山マリエ 80
――ムッシュ・シイナへの手紙、パヴロバさんの衣裳

創作 くすぐり〈8〉 大道珠貴 106

昭和恋愛短編集③

ガチャガチャの森 佐藤洋二郎 113

老猫介護 三咲光郎 125

愛染さま 寺本親平 133

すこやかなる 宮月中 143

生誕120年記念

卓袱台のフェミニズム成瀬巳喜男論 倉田剛

88

（その一九五〇年代）

同人雑誌季評

小説でしかあらわせないもの 谷村順一 259

黒沢“組”の反核映画 越田秀男 266

季刊文科101

鳥影社

季刊文科 101 KIKAN BUNKA

[CONTENTS]

言葉の中で音楽が鳴る〈2〉
連載 谷崎潤一郎 許光俊 180

私を魅了した銀幕のスターたち(洋画篇)〈3〉
ジェニファー・ジョーンズ／ヴィヴィアン・リー 大鐘稔彦 187

海の詩学―三島由紀夫(18)

「文藝文化」の季節 鈴木ふさ子 203

―評論「王朝心理文学小史」・「古典その他」・「古今の季節」・「堤中納言物語具合」、短編「環」、詩「夜の蟬」

学界への窓 28

武田泰淳の『蝮のすえ』 荻野央 244

文藝季評 51

優しい小説 伊藤氏貴 251

砦

勝又浩 37 松本徹 87

同人雑誌および本誌会員から

足のお葬式 中出禮子 254

『季刊文科』への期待 織戸正義 256

「オダサク」を訪ねて 西内真次郎 257

会員規約 274

今号の執筆者 275

編集後記 276